

ERE information

Vol. 7 2005年2月25日発行

発行 / 特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者 / 松崎 英樹
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号 電話 03 3267 - 4819

Contents

- ▶ “平成の適塾生たち”(熊本壺溪塾学園)が優勝!〔第2回大学対抗戦〕
- ▶ 第7回 E R E 試験結果
- ▶ 特別インタビュー: 矢住勝大さん
- ▶ 事務局からのご連絡

▶ “平成の適塾生たち”(熊本壺溪塾学園)が優勝!〔第2回大学対抗戦〕

2004年12月5日(日)「第7回 E R E / E R E ミクロ・マクロ」において、第2回大学対抗戦が行われました。

今回の大学対抗戦は、前回の覇者である新潟大学・早稲田大学をはじめ、埼玉大学、高崎経済大学、東京大学、名古屋大学、青山学院大学、上智大学、東洋大学、立命館大学、和光大学、熊本壺溪塾学園の12団体20チームの経済学サークル等有志のみなさんにより優勝を目指し競い合われました。

結果、優勝は総合得点1,240点の「平成の適塾生たち」(熊本壺溪塾学園)、準優勝は総合点1,230点で「ジュニア会計士同好会」(埼玉大学)、3位は総合点1,210点で「Team小川」(名古屋大学)となりました。

対抗戦の個人部門では、380点で埼玉大学(経済学部)の瀬川文司郎さん(E R E 全国順位11位)と熊本壺溪塾学園の矢住勝大さん(E R E 全国順位3位)がトップの成績を収めました。

なお、優勝チームにはダイヤモンド社より「週刊ダイヤモンド」を、準優勝チームには日本評論社より「経済セミナー」が、それぞれ半年間贈呈されます。

順位	チーム名	ミクロ	マクロ	合計得点	平均点
優勝	平成の適塾生たち(熊本壺溪塾学園)	580点	660点	1,240点	310.0点
準優勝	ジュニア会計士同好会(埼玉大学)	630点	600点	1,230点	307.5点
3位	Team小川(名古屋大学)	570点	640点	1,210点	302.5点

▶第7回 ERE 試験結果

第7回 ERE が2004年12月5日(日)に、全国の試験会場において同時に実施されました。今回の応募者は、「ERE」においては322名(前回は111名増)、「EREミクロ・マクロ」では807名(前回は269名増)と、ともに大幅に増加いたしました。また、全体の平均点につきましては、「ERE」が442.5点(前回は268点)、「EREミクロ・マクロ」が187.4点(前回は145点)となりました。詳細は下記資料1～5のとおりです。

《資料1-1》科目別成績 『ERE』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学	時事経済
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点	100点
平均点	104.0点	114.0点	43.0点	41.5点	49.5点	44.3点	46.2点
(前回)	120.5点	116.7点	59.2点	47.1点	49.7点	32.4点	43.8点
標準偏差	35.58	40.96	21.99	18.58	22.02	19.54	20.09
(前回)	39.85	36.29	19.37	18.89	18.34	17.76	19.59

《資料1-2》

『EREミクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	92.7点	94.7点
(前回)	101.6点	90.4点
標準偏差	29.13	34.36
(前回)	39.48	34.17

《資料2》成績概要

	ERE	EREミクロ・マクロ
応募者数	322名	807名
受験者数	243名	629名
平均点	442.5点	187.4点
標準偏差	131.10点	53.46点
最高得点	820点	440点
最低得点	150点	70点

《資料3》団体別応募状況

ERE		EREミクロ・マクロ	
久留米大学	29名	大阪経済大学	49名
新潟大学	27名	立命館大学	45名
慶應義塾大学	25名	東洋大学	39名
立命館大学	18名	高崎経済大学	36名
東京大学	11名	福岡大学	30名
熊本壺溪塾学園	9名	法政大学	26名
京都大学	8名	早稲田大学	25名
新潟産業大学	8名	宇都宮大学	23名
関西学院大学	6名	慶應義塾大学	23名
早稲田大学	6名	⑩新潟大学	21名
⑪中央大学	5名	⑪東京大学	20名
⑪一橋大学	5名	⑫酪農学園大学	18名
⑪東北大学	5名	⑬新潟産業大学	16名
		⑭群馬大学	15名
		⑭明治大学	15名

《資料4》 ERE上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名(敬称略)	得 点	ランク
1	公務員ゼミナール	長崎校	三 宅 英 雄	820点	S
2	同志社大学	経済学部	櫻 原 啓 輔	810点	S
3	熊本壺溪塾学園	大学受験科・公務員専攻科	矢 住 勝 大	770点	S
4	東京大学大学院	工学系研究科	橋 本 真 和	760点	S
4	京都大学大学院	経済学研究科	浦 川 邦 夫	760点	S
6	大阪大学大学院	経済学研究科	(非 公 開)	710点	A ⁺
7	千葉大学	法経学部	木 村 遼 一	690点	A ⁺
7	一橋大学大学院	経済学研究科	(非 公 開)	690点	A ⁺
7		(非 公 開)		690点	A ⁺
7			吉 仲 英 明	690点	A ⁺
11	一橋大学大学院	経済学研究科	椿 治	680点	A ⁺
11	埼玉大学	経済学部	瀬 川 文 司 郎	680点	A ⁺
11	京都大学	経済学部	堀 口 裕 記	680点	A ⁺
14	東京大学大学院	総合文化研究科	西 脇 寛	670点	A ⁺
14	京都大学	農学部	三 田 明 紀	670点	A ⁺
16	東京都庁	中央卸売市場	上 原 泰 信	660点	A ⁺
16	一橋大学大学院	経済学研究科	村 上 茂 久	660点	A ⁺
18	東京大学大学院	工学系研究科	関 大 輔	650点	A ⁺
18			松 山 泰 大	650点	A ⁺
18	新潟大学	(非 公 開)		650点	A ⁺
18	長崎県立大学	経済学部	中 原 正 太 郎	650点	A ⁺
22	東ソー	経営管理室管理G	齋 藤 正 英	640点	A
22	エルエヌジージャパン	企画業務部	土 田 毅	640点	A
22	龍谷大学	経済学部	(非 公 開)	640点	A
22	京都大学大学院	工学研究科	山 本 真 一 郎	640点	A
22	大栄教育システム		藤 川 敏 昭	640点	A
22	九州大学大学院	工学府	(非 公 開)	640点	A

明治大学リバティ・アカデミー 経済学検定(ERE)受験対策基礎講座を開講

明治大学リバティ・アカデミーの資格実務講座におきまして、「経済学検定(ERE)受験対策基礎講座」が6月より開講されます。講義は、6月6日(月)の第1回目より11月21日(月)までの間、全12回行われます。

問合せ先 明治大学リバティ・アカデミー事務局

電 話 : 03 - 3296 - 4423

F A X : 03 - 3296 - 4542

e-mail : academy@mics.meiji.ac.jp

住所 : 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1 - 1 明治大学駿河台校舎アカデミー
コモン11階

《資料5》 EREミクロ・マクロ上位成績者

順位	大学・勤務先名	所属	氏名(敬称略)	得点	ランク
1	早稲田大学	政治経済学部	(非公開)	440点	S
2			榊原 芳 崇	400点	S
3	慶應義塾大学	経済学部	(非公開)	370点	S
3	埼玉大学	経済学部	飯 伏 隼 人	370点	S
5	名古屋大学	経済学部	蟹 江 敦 夫	360点	S
5	立命館大学	経済学部	高 島 啓 太	360点	S
7	慶應義塾大学	経済学部	川 上 陽	350点	S
8	北海道大学	法学部	萬 年 脩	340点	S
8			後 藤 健 弘	340点	S
8	東京大学	農学部	松 田 昌 典	340点	S
11	立教大学	経済学部	内 野 泰 助	330点	S
12	慶應義塾大学	商学部	村 田 光 司	320点	S
12	早稲田大学	教育学部	山 下 陽 一	320点	S
12	名古屋大学	経済学部	石 田 裕 幸	320点	S
15	東北大学大学院	工学研究科	大 地 圭 介	310点	S
15	福島大学	経済学部	椎 名 隆 之	310点	S
15	一橋大学	社会学部	西 野 信 一	310点	S
15	神奈川大学	経済学部	林 宏 一 郎	310点	S
15	早稲田大学	第一文学部	慶光院 尚 子	310点	S
15	愛媛大学	法文学部	橋 岡 大 樹	310点	S
21	東京大学	理科1類	塩 月 亨	300点	A+
21	東京都庁	(非公開)		300点	A+
21			齊 藤 智 之	300点	A+
21	早稲田大学	政治経済学部	柴 田 稔	300点	A+
21			吉 田 利 樹	300点	A+
21			内 村 守	300点	A+
21	立命館大学	経済学部	松 本 伸 弘	300点	A+
21	宇都宮大学	農学部	石 田 一 喜	300点	A+

第7回EREトップ 三宅 英雄さん(公務員ゼミナール長崎校 講師)

今回は、自分が卒業した長崎大学で受験できたということもありましたし、前回受験した後に、自分なんかには分不相応ないい学生がたくさん入ってきて力を伸ばしてもらえたので、自分の中では、この成績は母校の力、あと、何よりも自分の支えになってくれた学生たちの力の証になったと思っていますので、受験してよかったと強く感じています。EREでは公務員試験では見かけないような問題も出題されますが、そうした問題にも挑戦し解答していくことは「直感」を磨く上で非常に有益です。ケインズは経済学者には「論理と直感の混合」が必要であると言ったそうですが、たとえ学者にならなくても、理論の構築、応用にあたってはそうした直感はかなり重要だと思います。

EREを通して、より多くの方が経済学的な感覚を磨き、日本の経済学教育の水準が向上していくといいですね。

大学対抗戦に参加して

矢住勝大さん（熊本壺溪塾学園 専任講師）

第2回大学対抗戦に、教え子とともに参戦された熊本壺溪塾学園の矢住勝大さんに、優勝されたご感想などを伺いました。

編集部 優勝おめでとうございます。全国の現役経済学部生を抑えて、全国制覇された御感想を聞かせてください。

矢住さん 素直に喜びたいと思います。キャプテンの私も経済学部出身ではありませんし、クルーとなった8名の教え子たちのなかにも実は経済学部出身者は1名しかいません。ですから、いまだに全国優勝できてしまったことが信じられません。ただし、私自身の個人成績が前回（第5回）の全国第2位から第3位に後退してしまったため、生徒たちが演じた快挙にキャプテンである私が花を添えることができず、生徒たちに対して申し訳なく思っています。



優勝の賞状を手にした矢住先生と“平成の適塾生たち”

編集部 参加しようと思われた契機を教えてください。

矢住さん 現在、私は熊本壺溪塾学園の公務員専攻科において、国家種や国税専門官や地方上級等の公務員を目指す大学生や既卒者に経済原論や財政学や時事問題を教えていますが、当塾を含めて、ほとんどの予備校は、例年10月ごろに受験のための講義を開始して、翌年6月までに一般教養・一般知能、経済原論・財政学・経営学、憲法・民法・行政法・政治学・行政学等の講義を終え、7月以降は第1次試験合格者に対する第2次試験の対策（論文・集団討論・面接等）に入ることになります。ところが、近年の公務員試験は難化しているため、捲土重来を期して、もう1年勉強する生徒も少なくありません。私は、その勉強の“端境期”となる7月～9月に、次の2つの勉強をするように勤めています。

憲法・民法・行政法・政治学・行政学の学力と法律・政治・行政系の時事問題に対する意識を維持・向上させるため、10月第4日曜日の行政書士試験（合格率5%程度の難関です）に出願し、その合格を目標に勉強をすること。この試験の受験料は、生徒に自己負担してもらっていますが、一応、私も行政書士試験合格者ですので、試験合格に必要な図書は概ね所持しており、必要に応じて生徒に貸し出しています。

経済学検定へ向けて、とりわけ公務員試験との連動性が高いミクロ経済学・マクロ経済学・国際経済学・財政学・時事問題を勉強すること。経済学検定の過去問演習を通じて、公務員試験でも重複して出題される部分については素直な気持ちで復習し、公務員試験に

は見られないタイプの問題については、知識の幅をひろげるための良い契機と考えるように指導しています。このように公務員試験合格のために必要な知識を補完するという方針のもと、E R Eの対抗戦への参戦を思いつきました。

編集部 対抗戦のメンバーは、どのように決められましたか？

矢住さん 捲土重来を期すことが決まった約10名の教え子と新しく仲間に加わることになった約20名の合計約30名で8月末から勉強を始めました。対策を本格化したのは、10月上旬からです。今回は9名分の受験料を、全額私が負担する代わりに、8名のクルーを誰にするかの決定権は、私に一任してもらいました。そして、10月中旬にエントリーした段階では誰をクルーに選んだか公表せず、全員に“僕も、私も選ばれるかもしれない……頑張らなければ！”という危機感と競争意識を植え付けることにしました。結局、誰が受験するのかを公表したのは、試験日4日前の12月1日でした。

編集部 E R Eに対する今後の取り組みを聞かせてください。

矢住さん まず私自身が、第8回E R Eのトップを狙います。私自身が強くならなければ、生徒たちを引き上げることはできない、と心得ていますので。また、第3回の大学対抗戦では連覇を目指すつもりですが、今回の主力メンバーが、ちょうど7月上旬に公務員試験の天王山に差し掛かっているため、同一メンバーでは参加できません。そこで、仮称ですが〔熊本壺溪塾学園OB・OG会 平成の志士たち〕チームを結成して、ぜひ参加したいと思います。もちろん、チーム名には“高校・予備校・大学で学んだことを自分自身のためだけでなく、我々が生きているこの世界のために使える人になれ！ 幕末から明治維新や太平洋戦争敗戦直後と並ぶ変革期にある日本を素晴らしい国にするために頑張れ！”という意味を込めています。一応、私がキャプテンとなり、8人のクルーは私が大学受験料で担任した教え子たちから選抜します。難関国立大、慶應義塾大または早稲田大などの経済・経営・商学系の大学・学部に進んだ塾生のうち、遊んでしまいがちな2回生と3回生に勉強をさせ、安定した成績を期待できる者を5名程度、もしかしたら高い得点を確保できるかもしれない潜在的な可能性を秘めている者を3名程度ずつ選抜して、連覇を狙おうと考えています。



優勝の賞状

第2回大学対抗戦

準優勝 「ジュニア会計士同好会」(埼玉大学)

第2回大学対抗戦にて準優勝、とても光栄に思います。当サークルは今年度からEREの勉強を始めて、今回サークルとして初参加でした。次回以降も参加し、優勝を狙います。

今後、試験の知名度が上がって、大学対抗戦が、各チームが大学の名誉を懸けて争うぐらいになることを期待します。そしてその時、埼玉大学が「古豪埼玉大学」として名を馳せていることを夢見つつ、サークルとして努力し、各人が精進していきたいと思えます。

(埼玉大学経済学部 瀬川 文司郎さん)

* * *

第3回大学対抗戦の実施に向けて、より広く全国大学サークルの参加を募ります。

対抗戦の成績は、「ERE/EREミクロ・マクロ」のミクロ経済学・マクロ経済学の2科目(上位4名の成績)で競います。協賛各社より入賞されたみなさんには副賞が授与されます。

第3回 大学対抗戦

第8回 ERE/EREミクロ・マクロ 2005年7月3日(日)に実施

受付期間 2005年4月18日(月)~5月20日(金) <消印有効>

詳しくは協会のホームページをご覧ください。

<http://www.ere.or.jp/taikousen/taikousen.pdf>

明海大学で「ERE」「EREミクロ・マクロ」が奨学金の対象になる

明海大学(千葉県)では、2005年度の資格等取得奨励奨学金給付に関する規程を一部改正しました。

改正規程によると、給付対象である「経営・経理・労務の項目」に、「ERE」「EREミクロ・マクロ」が奨学金の給付対象資格として正式に認められることになりました。給付は、全学科の学生が対象です。

奨学金の給付は、S・A+ランク取得者には100,000円、Aランク取得者には70,000円、B+ランク取得者には50,000円、Bランク取得者には30,000円の4段階となっています。参考までに、100,000円クラスは国家公務員・種、司法試験、税理士、中小企業診断士、英検1級、TOEIC 800点以上等の難関資格です。

【学生の声】

先生方の熱心な薦めにより、「ERE/EREミクロ・マクロ」を受験する学生も回を重ねるごとに増えてきていると思います。大学として、実学系の資格取得をバックアップする制度が充実していることは大変ありがたいことです。資格取得のための努力と成果は目にみえる形で大学から認められますから、私たちのスキルアップを啓発するためのいい後押しになってくれています。今も大勢の学生が資格取得を目指してチャレンジしていますし、奨学金制度はすでに多くの学生が活用しています。

EREが奨学金制度の対象として認定されたことはとてもいいことだと思います。自分の中ではもうひとつランクを上げようという目標があるので、次回は活用してみようと思っています。

(経済学部3年)

▶事務局からご連絡

個人情報の保護にあたって

当協会は、個人情報保護に関する法令等を遵守し、受験者情報の外部漏洩防止とプライバシーの保護に努めます。受験の申込時にいただきました個人情報につきましては、本人のご承諾なしに第三者には一切公表いたしません。ただし、当業務の情報処理を委託するなどのため当協会と秘密保持契約をしているものに対しては、必要最小限の個人情報を開示する場合があります。詳細につきましては、下記HPアドレスの「個人情報の取扱いと管理について」をご参照ください。

〔HPアドレス〕 <http://www.ere.or.jp/privacy/>

『ERE』実施要綱

実施回	第 8 回	第 9 回
試験日	2005年7月3日(日)	2005年12月4日(日)
試験時間	午後1時00分～午後4時00分	午後1時00分～午後4時00分
受験願書 受付期間	2005年4月18日(月)～ 2005年5月20日(金) 消印有効	2005年9月19日(月)～ 2005年10月21日(金) 消印有効
受験料	5,250円(税込)	
出題科目	ミクロ経済学/マクロ経済学/財政学/金融論/国際経済/統計学/時事経済	
出題形式	4答択一式/100問,1問10点,1,000点満点	
持込品	受験票,筆記用具(HBの鉛筆,プラスチック製消ゴム),電卓(ただし,金融計算電卓,関数・メモ機能付は不可),顔写真付身分証明証(学生証・運転免許証・パスポート等)	

『EREミクロ・マクロ』実施要綱

実施回	第 8 回	第 9 回
試験日	2005年7月3日(日)	2005年12月4日(日)
試験時間	午後1時00分～午後2時30分	午後1時00分～午後2時30分
受験願書 受付期間	2005年4月18日(月)～ 2005年5月20日(金) 消印有効	2005年9月19日(月)～ 2005年10月21日(金) 消印有効
出題科目	ミクロ経済学/マクロ経済学	
受験料	3,150円(税込)	
出題形式	4答択一式/50問,1問10点,500点満点	
持込品	受験票,筆記用具(HBの鉛筆,プラスチック製消ゴム),電卓(ただし,金融計算電卓,関数・メモ機能付は不可),顔写真付身分証明証(学生証・運転免許証・パスポート等)	

(注) 『ERE』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。